

令和 7 年度 医師の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

～当院の取り組み～

当院では、平成 2 9 年 4 月より勤務医の負担軽減を目的とした「多職種業務分担検討委員会」を立ち上げ、『医師の事務的な業務を代行する事務職員の増員』や『外来診療の縮小』を行った。その後、平成 3 0 年 8 月に厚生労働省がとりまとめた『医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取り組み』等を参考に、令和 4 年 4 月より『タスクシフト・タスクシェア委員会』にその活動の場を移し、継続して医師の負担軽減に考慮し、各職種が協力して医療介護を提供する体制を構築している。

項目	取り組み内容	具体的な取り組み内容
医師の労働時間管理の適正化	・勤務時間を客観的に把握 ・勤務体制の適切な労務管理	取り組みの継続 ・タイムカード・人事システムを導入 ・時間外労働の個人別、診療科別時間数の把握に向けた課題の明確化 ・医師確保につながる取り組みの継続